

令和6年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 藤 池 俊

令和5年度 赤穂市立歴史博物館の事業報告について

赤穂市立歴史博物館指定管理者管理運営基準に基づき、令和5年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



歴史博物館(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

開館日数 311日

区分	常設			展			特別			展		合計	
	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)
個人	大人	200	10,014	2,002,800	大人	300	3,087	926,100	13,101	2,928,900			
	小中学生	100	511	51,100	小中学生	150	111	16,650	622	67,750			
30人以上	大人	160	2,885	461,600	大人	240	863	207,120	3,748	668,720			
	小中学生	80	156	12,480	小中学生	120	32	3,840	188	16,320			
100人以上	大人	120			大人	180							
	小中学生	60			小中学生	90							
個人 50%	大人	100	516	51,600	大人	150	265	39,750	781	91,350			
	小中学生	50	30	1,500	小中学生	75	3	225	33	1,725			
団体 30人以上50%	大人	80			大人	120	39	4,680	39	4,680			
	小中学生	40			小中学生	60							
団体 100人以上50%	大人	60			大人	90							
	小中学生	30			小中学生	45							
100%	大人		1,655		大人		232		1,887				
	小中学生		394		小中学生		112		506				
特別利用券利用者	大人				大人		279		279				
	小中学生				小中学生								
赤穂観光パスポート	通りやんせ		64	(@120×83) 9,960	通りやんせ		3		67	9,960			
合計	大人		15,134	2,525,960	大人		4,768	1,177,650	19,902	3,703,610			
	小中学生		1,091	65,080	小中学生		258	20,715	1,349	85,795			
	計		16,225	2,591,040	計		5,026	1,198,365	21,251	3,789,405			

(赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の開催

歴史博物館

特別展

期 間 令和5年11月18日(土)～令和6年1月23日(火)
名 称 「令和5年度特別展 児嶋なか生誕200年記念 赤穂緞通」展
内 容 児嶋なかの生誕200年を記念してなかの独自開発により商品化された赤穂緞通を取り上げ、新出文様の緞通等を展示し、緞通の歴史と魅力を紹介
入館者数 5,026人

常設展展示替 令和5年4月1日(土)～7月25日(火)
義士コーナー展示「初公開の忠臣蔵浮世絵」
近年館蔵となった幕末から明治時代に出版された未公開の忠臣蔵浮世絵35枚を展示・公開

令和5年7月27日(木)～令和6年2月27日(火)
義士コーナー展示「泉岳寺開帳と浮世絵 義士四拾七人之内」
泉岳寺開帳に合わせて出版されたとみられる歌川芳虎の浮世絵シリーズ作品「義士四拾七人之内」35枚を一堂に展示・公開

令和6年2月29日(木)～3月31日(日)
義士コーナー展示「月岡芳年の忠臣蔵浮世絵」
幕末から明治時代にかけて活躍した浮世絵師、月岡芳年の作品41枚を展示・公開

夏休み企画

期 間 令和5年7月21日(金)～8月31日(木)
名 称 夏休み子どもスタンプラリー&クイズ
内 容 夏休みに来館した小・中学生に赤穂の歴史文化により興味をもってもらうため、館内でスタンプラリーを行い赤穂の歴史に関する問題を出題
参加人数 271人

文化図書等の発行事業

(1) 特別展図録の発行

・歴史博物館特別展図録の発行

発行日 令和5年11月18日
図書名 「児嶋なか生誕200年記念 赤穂緞通」
発行部数 600部

(2) ミュージアムグッズの製作

製作月	グッズ名	製作数	備考
令和5年11月	「赤穂緞通一筆箋」	220部	歴史博物館

赤穂市立歴史博物館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和5年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
歴史博物館管理収入	24,460,000	23,807,998	652,002	歴史博物館管理収入
施設利用料収入	3,460,000	3,789,405	△ 329,405	施設利用料収入
合 計	27,920,000	27,597,403	322,597	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	10,239,000	10,151,556	87,444	職員給 3人、諸手当
福利厚生費支出	2,637,000	2,534,459	102,541	共済費、社会保険料外
小 計	12,876,000	12,686,015	189,985	
物件費				
旅費交通費支出	109,280	109,280	0	旅費
消耗品費支出	706,000	669,342	36,658	施設管理用消耗品外
燃料費支出	41,000	32,676	8,324	ガソリン代
会議費支出	4,000	3,518	482	来客賄
印刷製本費支出	401,231	375,750	25,481	特別展ポスター・チラシ印刷外
光熱水費支出	5,419,498	5,419,498	0	電気代外
修繕費支出	324,222	321,480	2,742	収蔵庫系統加湿器修理外
通信運搬費支出	342,000	321,250	20,750	電話料外
保険料支出	63,000	62,590	410	自動車損害保険料外
広告料支出	127,000	126,500	500	特別展広告掲載料
手数料支出	50,000	49,980	20	施設管理検査手数料外
委託料支出	5,879,000	5,871,564	7,436	清掃管理業務委託 1,345,080 特別展業務委託 1,249,800 建物管理業務委託外 3,276,684
使用料賃借料支出	1,373,000	1,344,291	28,709	特別展展示ケース賃借料外
原材料費支出	11,000	10,450	550	展示補助資材
消耗什器備品費支出	131,000	130,900	100	施設備品
負担金支出	17,000	16,550	450	兵庫県博物館協会負担金外
雑費支出	45,769	45,769	0	諸雑費
小 計	15,044,000	14,911,388	132,612	
合 計	27,920,000	27,597,403	322,597	

赤穂市立歴史博物館指定管理者自主事業収支決算書
(令和5年度分)

(単位:円)

収入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業収入	820,100	1,360,700	△ 540,600	図書頒布収入
赤穂市補助金収入	0	△ 552,860	552,860	財団(一般分)補助金
合 計	820,100	807,840	12,260	

支出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業費				
消耗品費支出	4,000	3,660	340	管理用消耗品
印刷製本費支出	694,100	694,100	0	特別展図録、赤穂緞通一筆箋
手数料支出	32,000	20,080	11,920	図書等販売手数料
諸謝金支出	90,000	90,000	0	執筆等謝礼
合 計	820,100	807,840	12,260	

令和5年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立歴史博物館					
所在地		赤穂市上仮屋916番地1					
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団			指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地				終了日	令和6年3月31日
選定方法		非公募			評価実施年	指定期間3年のうち3年目	
施設設置目的		郷土の歴史に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行い、市民の教養の向上、文化の発展に資するため歴史博物館を設置する。					
主な実施事業		(1) 実物、複製、模写、模型、図書、フィルム等の資料を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。 (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (4) 講演会、講習会、展覧会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。 (5) 他の博物館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3実績	目標	R4実績	目標	R5実績
a	利用者数	人	29,000	13,220	29,000	18,675	29,000	21,251
b	稼働率	%		46		64		73

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	
収入計		A	25,928,698	28,333,501	28,405,243
指定管理料			22,582,823	24,353,586	23,807,998
利用料収入		C	2,392,040	3,146,570	3,789,405
自主事業収入			953,835	833,345	807,840
その他			—	—	—
支出計		B	25,928,698	28,333,501	28,405,243
事業費			24,974,863	27,500,156	27,597,403
内、人件費		D	11,744,482	12,007,014	12,686,015
内、再委託料		E	6,469,874	6,007,563	5,871,564
自主事業費			953,835	833,345	807,840
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	9.2 %	11.1 %	13.3 %
人件費率		D/B	45.3 %	42.4 %	44.7 %
再委託費比率		E/B	25.0 %	21.2 %	20.7 %
・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。					
補足説明					

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
①サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。		B	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
②サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 新型コロナウイルス感染症が5類になり入館者数は徐々に感染拡大前に戻りつつあるが、令和5年度も依然としてコロナ前の水準には戻っていなかった。しかしながら、特別展「児島なか生誕200年 赤穂緞通」展の実施にあたっては期間中に多くの来館者があったことから、今回のテーマは昨年度に比べ人々の関心が高かったことや、広告回数が大幅に増えたことによる効果があったと考えている。今後も引き続き、より魅力ある展示に努めるとともに、広告手法の検討やSNSを活用した効果的な情報発信等により、幅広く観光客等が呼び込めるようPRを行い入館者の増加につなげたい。		
	【所管評価】 新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、適切な管理運営を行い、特別展や常設展展示替を実施するなど、利用者増に努めている。 引き続き、広報やSNSを活用した積極的な情報発信に努め、利用者増への取り組みの充実を図るとともに、利用者の安全確保と、適切な施設管理に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。